久屋小だより

～気づき　考え　みんなで創り出すⅢ～令和５年　１２月号

「気づき　考え　みんなで創り出す」㉝

～わくわく発表会～

１１月１１日（土）のわくわく発表会では，多くの保護者，地域の方にご来校いただきました。誠にありがとうございました。日頃の学習の一端をご覧いただきました。学習の中で分かったことや思ったこと，感じたことを人に伝えることで，学びの成果をより深く自分の中に落とし込んでいくことができます。その深まりは今後の学びに活きていきます。このわくわく発表会は大事な学習活動です。

子どもたちは，一つの発表を創るために，家でも自分で小道具を作ったり，衣装を作ったり，絵や字をかいたり，セリフの練習をしたりしてきました。子どもたちの手作り満載の取組ができていたことをうれしく思います。これは，大人の力で見栄えや体裁を整えることよりも大事な学びです。その取組の中でこそ，協力や協働，創造性は養われると考えています。この日，子どもたちの手作り満載の発表をご覧いただけたことをうれしく思います。子どもたちは、緊張感の中にもわくわくした気持ちで本気で発表しました。

子どもたちにとっては，他学年の発表を見て，聞いて，「あんな勉強しているんだ。」，「あの発表の仕方いいな。」「あんな伝え方があるんだ。」など，多くの気づきができたと思います。その気づきが，これからの子どもたちの学びの支えとなります。みんなの本気が伝わってくるわくわく発表会でした。

連合音楽会

１１月８日（水），連合音楽会がありました。４年ぶりの開催となりました。久屋小学校は，３年生から６年生が参加し，リコーダー演奏を披露しました。日ごろの音楽の授業で続けてやってきたことを発表しようという考えで取り組みました。２学期のはじめから，今学期は「本気」で取り組み，自分（たち）や学校に「変化」をつけていこうという話をしています。本番に向けた取組の過程が子どもたちにとっては大事な学びになります。その成果は音や姿勢となってあらわれます。子どもたちの演奏を視聴し，その成果を確かめることができました。夏休みの個人練習，２学期での全体練習を繰り返し，子どもたちは「本気」の気持ちを高め，立派に発表しました。心癒される素敵なリコーダー演奏でした。

全校遠足

１１月１７日（金）に全校遠足を行いました。奥出雲町の多根自然博物館，雲南市のドラゴンメイズに行きました。

出発前には，「みんなが楽しかったと言える遠足にしよう。だれか一人でも『不愉快さ』を感じたら遠足としては失敗だよ。みんなが楽しめる遠足をみんなで創ることが今日のめあてだよ。」という話をしました。みんなが楽しめた遠足になったと思います。高学年は高学年の役割を考えていました。ルールやマナーも考えながら活動していました。縦割り班で声をかけ合って，楽しくメイズに挑戦したり，博物館見学をしたりしていました。お弁当の時間もとても微笑ましい姿が見られました。『不愉快さ』が生まれない遠足にしようとみんなが考え，行動していたと思います。

久屋小の子どもたちは，*やっぱりできる子どもたち*です。

学校運営協議会～委員・学校教職員・久利保育園職員とのフリートークの会～

１２月６日（水）に第２回学校運営協議会を行いました。今年度は，久利保育園の職員さんもお招きして，フリートークを行いました。この学校運営協議会は，「地域とともに学校を創る」一つのしくみです。学校運営協議会委員と学校教職員，そして保育園職員が，「地域の子どものこと」などについて語らい，思いや願い，方針を共有し，関係を築いていくことは，地域全体でともに学校を創るための原動力になると考え，実施しました。

この日，活発で和気藹々としたフリートークがなされ，学校運営協議会委員と学校教職員，保育園職員の関係性がより深くなったのではないかと思います。